

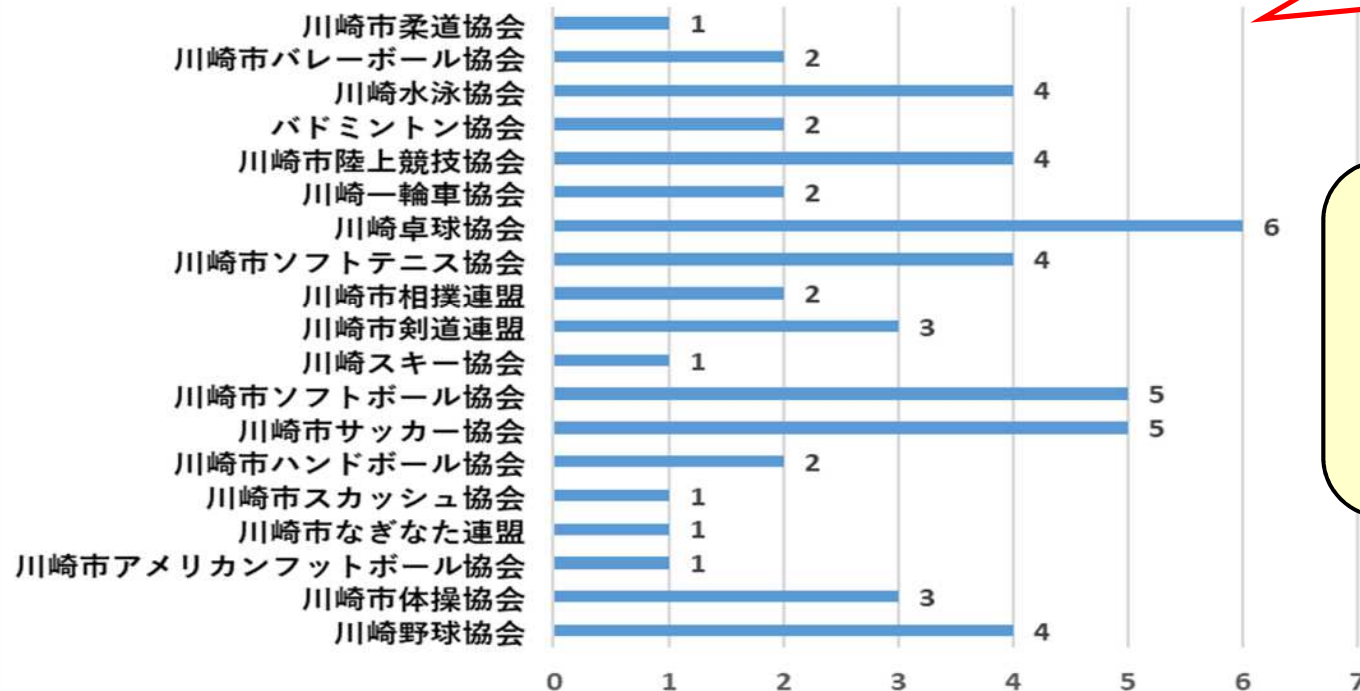
# 関係団体への意見聴取 の報告

# スポーツ団体への意見聴取①

## 実施概要

- ・実施時期 令和5年9月～12月
- ・対象 **川崎市スポーツ協会加盟団体**（40団体中32団体からアンケート回答、6団体にヒアリング実施） ※川崎市中学校体育連盟、川崎地区高等学校体育連盟を除く
- ・実施内容 各団体や大会運営に教員がどの程度関わっているのか、国の「休日の部活動の地域移行」の考え方に沿う形での協力可能性について、など

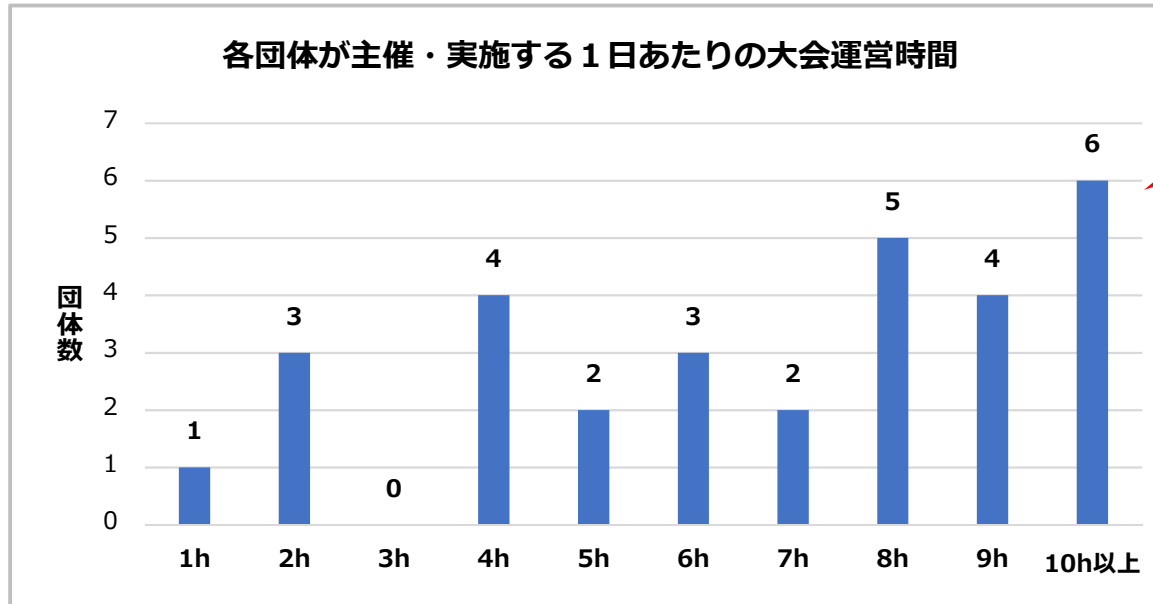
各競技団体主催の主な大会のうち中学生が参加できる大会数



中学生が参加できる大会数は、年に1～6回と種目により異なる。

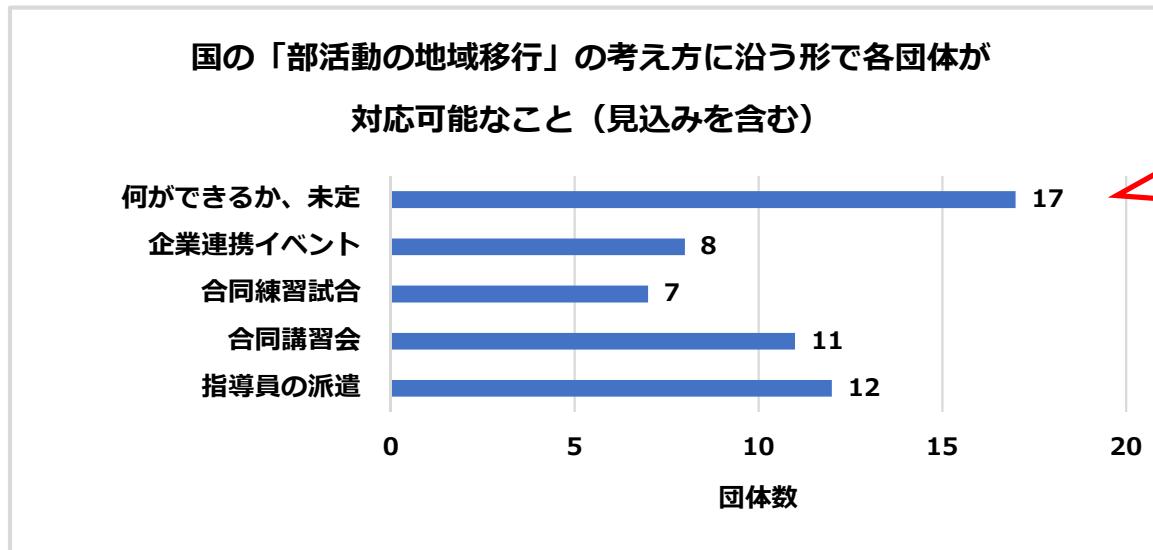
今後「大会参加の精選」を見据えて、中学校の各大会への参加状況を詳細に把握する必要がある。

## スポーツ団体への意見聴取②



大会の平均目安時間が平均4時間以上が26団体、7時間以上が17団体となっている。

中学校が参加する大会の開催時には、教員が運営に多く関わっており、拘束時間が長いことは負担増に繋がっている。



対応が未定という団体が17団体と大半を占める一方、「指導員派遣（12団体）」「合同練習会（11団体）」等の具体的な協力に関する回答もあった。

※地域移行への協力が難しい理由（4団体）

- ・指導員の不足
- ・活動場所の不足

# 文化団体への意見聴取

## 実施概要

- ・実施時期 令和6年1月
- ・対象 **川崎市文化協会加盟団体**（30団体中**19団体**からアンケート回答）
- ・実施内容 各団体や大会運営に教員がどの程度関わっているのか、国の「休日の部活動の地域移行」の考え方に沿う形での協力可能性について、など

## 教員が会員になっている団体は川崎市合唱連盟のみ

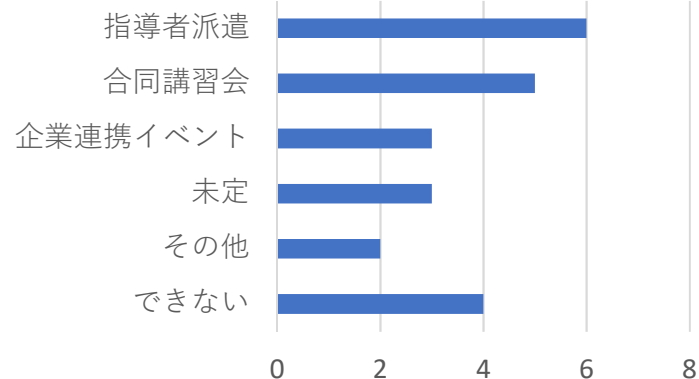
### 中学生が参加できる大会・発表会等がある団体

- ・川崎市合唱連盟
- ・川崎市詩吟剣舞道連盟
- ・川崎市書道連盟
- ・川崎郷土研究会

### 地域移行に協力できない理由

- ・人材、時間がない
- ・成人を対象としており、部活動とは性質が違う
- ・講師から学んでいるサークルであり、指導できるほど成熟していない

### 部活動の地域移行にあたり各団体で対応可能なもの



## 団体への意見聴取から見たもの

- ・ スポーツ団体については、教員の関与が大きい。特に、中学生が学校単位で参加する大会には、多くの教員が大会運営や審判に関わるとともに、団体の主催・運営する大会の多くは、休日または夏季休業期間等に開催し、半日以上の間がかかる種目が多い。
- ・ 文化団体については、教員の関与はほとんどない。
- ・ 各団体とも、活動の担い手のすそ野は広げたいと考えており、体験会やジュニア世代への技術講習開催に取り組んでいる。
- ・ 学校部活動への協力には前向きな団体が多い。
- ・ 学校部活動にない種目の団体については、中学生が参加可能な大会等は少ないが、今後の子どもたちの活動に関し、協力の意向を示している。